

報告書

SGD ポスター発表に挑戦しよう！～ポスター発表のコア・コンピテンシー～ ACP Japan Chapter Annual Meeting 2014

1. 開催日時・場所

2014年5月31日（土）13時～14時30分 京都大学時計台記念館

2. 主催

Scientific Program Committee 委員会 (SPC)

3. 目的

主に医学生から後期研修医を対象に、英語でポスター発表したいと思っけていても、どうしたらよいか分からない初学者を対象に、ポスター作成のお作法を習得していただく。お作法の習得を通じて、建設的なディスカッションができるようになる。

4. 目的達成のための方略

症例報告や臨床研究の実例を取り入れ、受講者にポスター作成のポイントを考えてもらえるようにインタラクティブなミニ講義を2つ行った。ポスター発表時の演者・質問者のマナーについては、オリジナルの動画を流し、何が不適切かを質疑応答するミニ講義を1つ行った。最後に、ポスターを数例用意して、要改善点をディスカッションした。

5. 企画運営者

志水 英明（中部ろうさい病院 腎臓内科部長）

渡邊 崇（東北大学 公衆衛生学分野、ACP2013・2014年次総会 一般演題査読委員）

栗田 宜明（福島県立医科大学 臨床研究イノベーションセンター、ACP2013・2014年次総会 一般演題査読委員長）

野村 篤史（中部ろうさい病院 リウマチ科）

6. 参加者

本ワークショップへの参加登録者は31名であり、内訳は医学生が4名、初期研修医（卒後1-2年）が11名、後期研修医（卒後3-5年）が5名、医師（卒後6年以上）が10名、薬剤師が1名であった。本ワークショップは医学生・研修医をターゲットにしていたが、参加者の3割はターゲット層よりも高い卒後年数の医師であった。

7. 本 SGD のプログラム

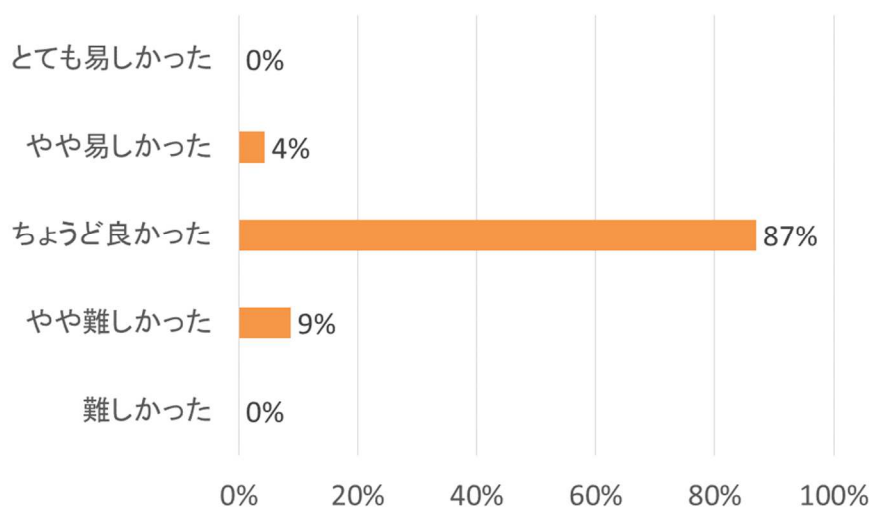
13 時 00 分：開始のあいさつ	志水 英明
13 時 05 分：ポスター発表 症例報告編	栗田 宜明
13 時 30 分：ポスター発表 臨床研究編	渡邊 崇
13 時 55 分：建設的なポスターディスカッション	志水 英明・野村 篤史
14 時 20 分：ポスター実例提示	志水 英明・野村 篤史
14 時 30 分：解散	

8. 参加者からの事後評価

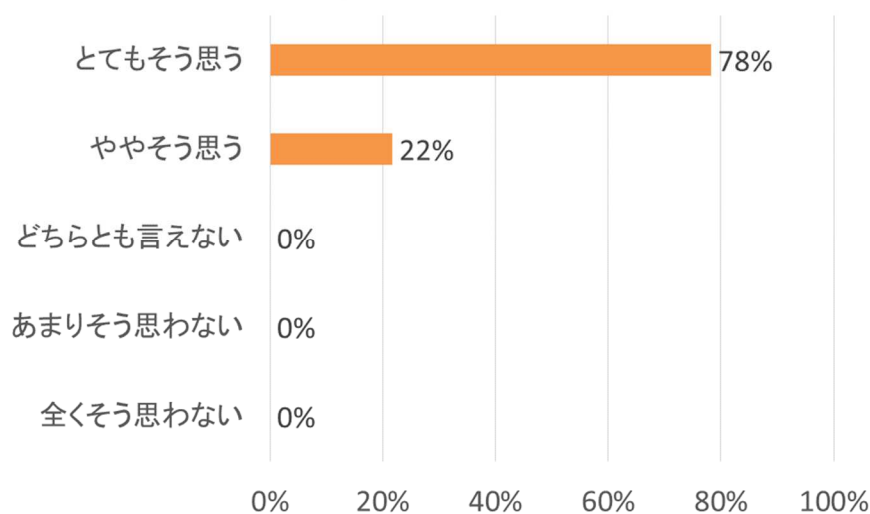
全体としては、回答者全員（23 名）が本 SGD に満足していると回答した。

「ポスター発表 症例報告編」（栗田 担当）について、以下の質問にお答えください

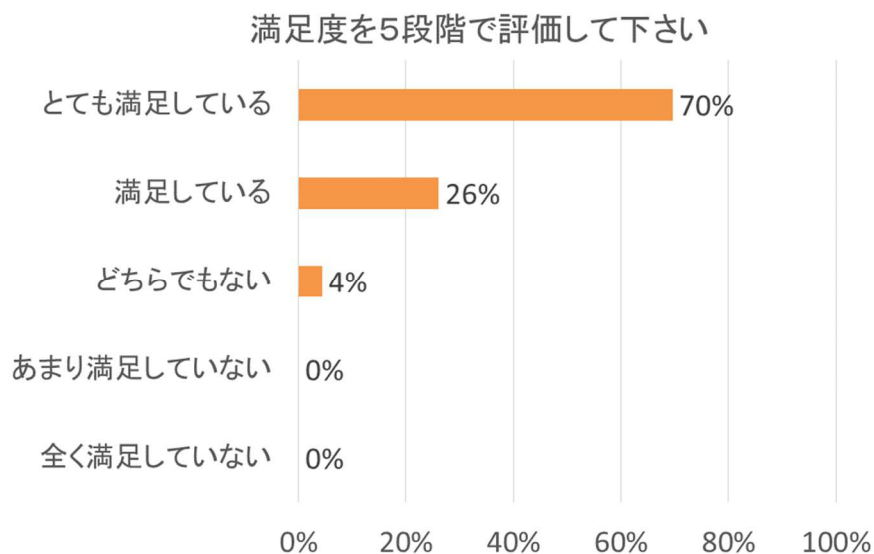
問1. 講義の難易度は適切でしたか？



問2. ご自身の学会発表に有用であると思われましたか？



問3.

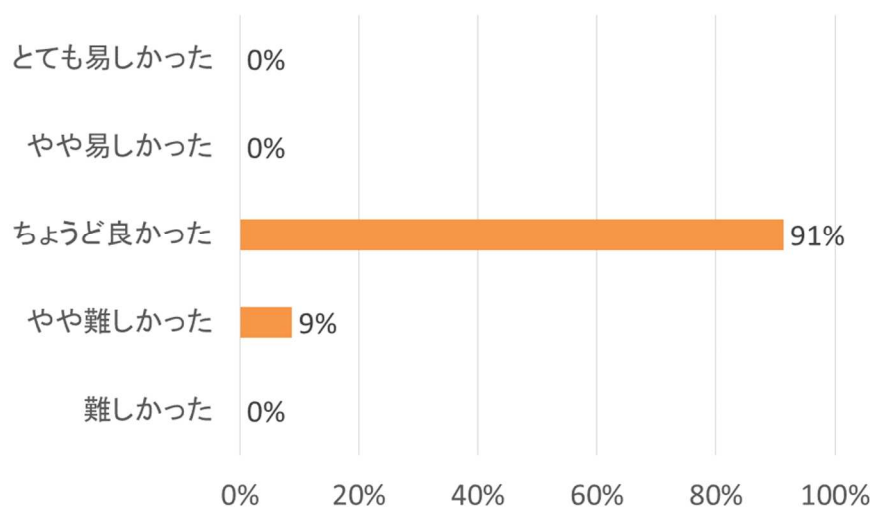


問4. 問3について、なぜそのようなご回答されましたか？（自由記載）

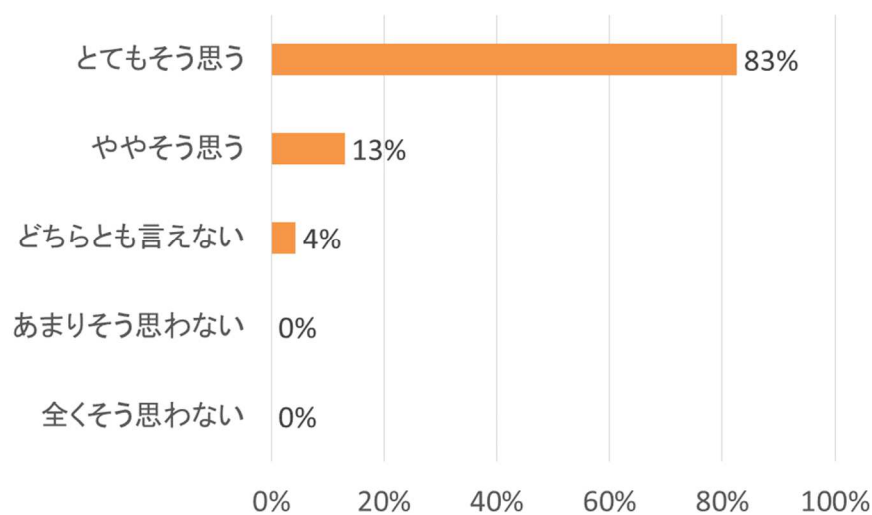
- ・ ポスター作製の基本がとても判り易かったです。
- ・ 1つ1つの項目についてポイントが明示されておりわかりやすかった。
- ・ 研修医一年目、ポスター歴全くなしの自分ですが、いろいろとわかりました。
- ・ わかりやすい説明がよかったです！
- ・ 今後確実に使えることをわかりやすく聞けたので。
- ・ 大事なポイントが分かりました！！
- ・ 今まで学ぶことのなかったことばかりで、新鮮だった。
- ・ ポスターのポイントがわかったから。
- ・ これからのポスター作製の「型」を教えて頂いた。
- ・ 未だポスター発表を行ったことが無いので、おそらく当事者意識がたりなかったのだと思う。
- ・ 論文調とポスター調の相違やアピール点が分かった。
- ・ Teaching Point がとても明確で指導する時によい。
- ・ 今までこういったことを教わったことがなく、新たな発見が多かった。

「ポスター発表 臨床研究編」(渡邊 担当) について、以下の質問にお答えください

問5. 講義の難易度は適切でしたか？

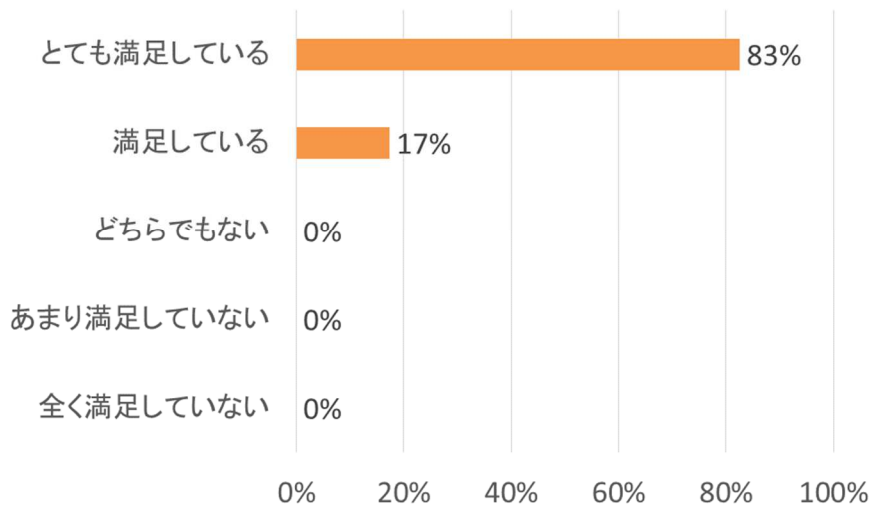


問6. ご自身の学会発表に有用であると思われましたか？



問7.

満足度を5段階で評価して下さい



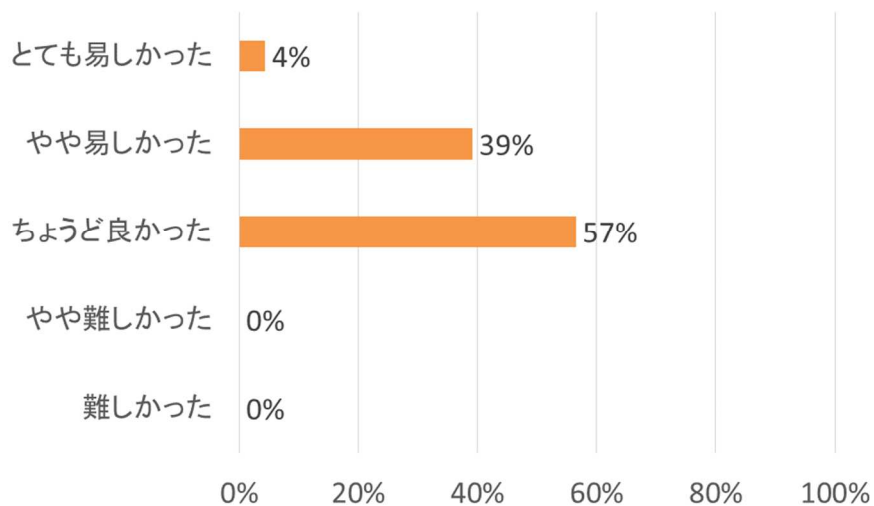
問8. 問7について、なぜそのようにご回答されましたか？（自由記載）

- ・ 見てもらう為の、人の目をひきつける為のポスター作りが判り易くてとてもよかったです。
- ・ 実例を比較しながらわかりやすかった。
- ・ タイトルを Q&A 方式でつけるととてもわかりやすいことに気づけました。
- ・ ポスターの構成自体について話せる非常にためになる話だったので。
- ・ 具体例があり、分かりやすかった。学んだ期会がなかったので勉強になりました。
- ・ 具体例に沿っていてイメージしやすかった。
- ・ 具体例を明示してくださったのでわかりやすかったから。
- ・ 具体的な方法論を多く聞いた。
- ・ ポスターはサービス精神という言葉とこだわりに強く印象を受けた。ポリシーを持って発表していきたいと思う。
- ・ 今後のポスター作製の参考になった。ぜひマネをしていきたい。
- ・ 自後よりも自前資料のほうが良いかも。
- ・ 実際のポスターをもとに、必要な要素が簡潔に盛り込まれていて面白かった。

「建設的なポスターディスカッション」(志水・野村 担当) について、以下の質問にお答えください

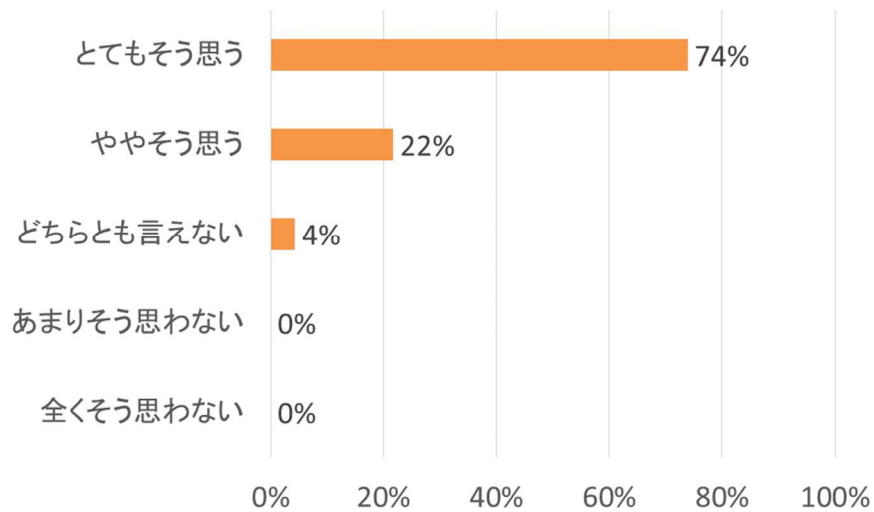
問9.

講義の難易度は適切でしたか？

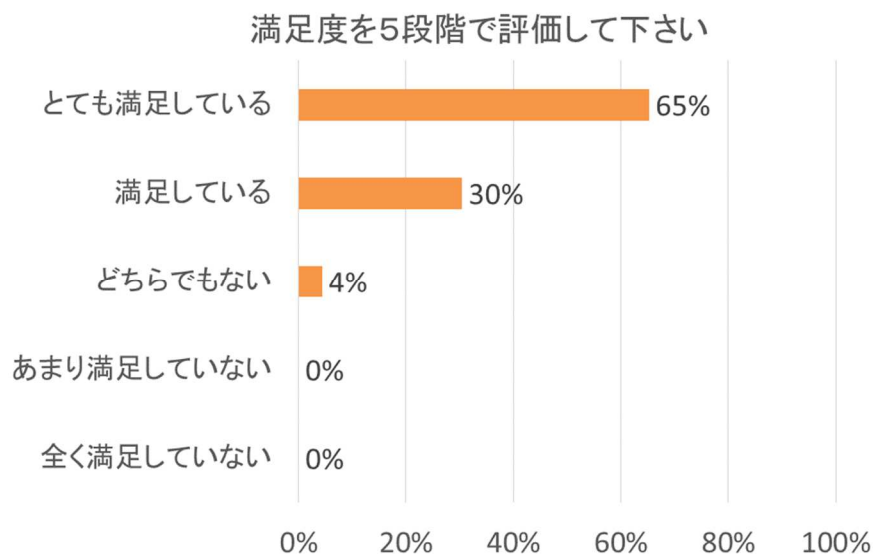


問10.

ご自身の学会発表に有用であると思われましたか？



問11.



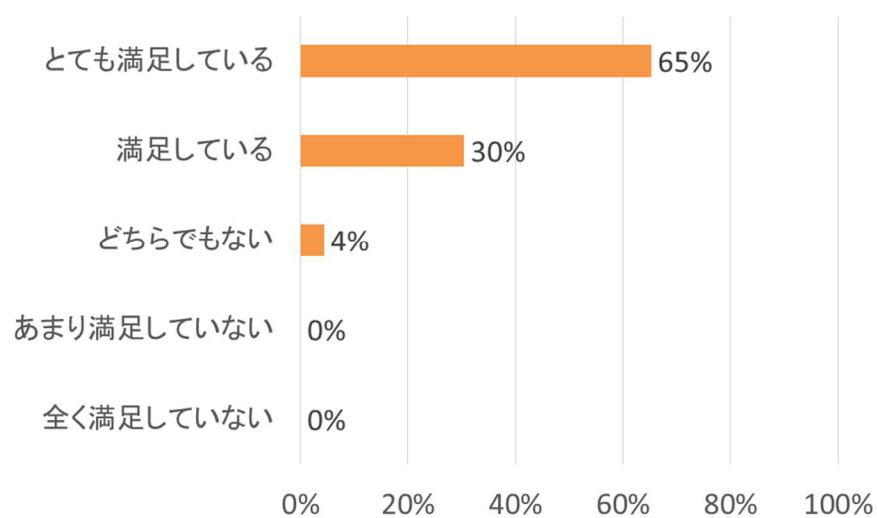
問12. 問 11 について、なぜそのようにご回答されましたか？（自由記載）

- ・ 動画付きで理解し易く頭に入り易かったです。
- ・ 根本的なことであるが、再確認することで意識が深まった。
- ・ 今日、ポスター発表見に行きたくなりました。
- ・ 動画によるセッションが面白く、内容も分かり易かった。
- ・ 面白い映像で非常に理解しやすかった。
- ・ 笑いもあり、あきませんでした。
- ・ ビデオ面白かった。聞き手の態度についての説明は初めてだった。
- ・ ビデオがわかりやすかったから。
- ・ 当たり前のことだが誰も教えてはくれなかったなので、教えて頂いてありがたかった。
- ・ 発表者、見学者それぞれの立場から気を付けるべきことを非常にわかり易い動画で示して頂きました。身につまされたこと…は特に無かったですが、大変面白いセッションでした。
- ・ 動画がすごくおもしろかったです。
- ・ 研修医や後輩に教えるべき礼儀だと思った。
- ・ ビデオはおもしろかったですが、少し長かったと思います。
- ・ ポスタープレゼンの「口演のポイント」について意識するきっかけとなったため。
- ・ 充さんが頑張っていたから。すごくおもしろかったです。

本ワークショップをご参加して、各問いにご回答をお願いします。

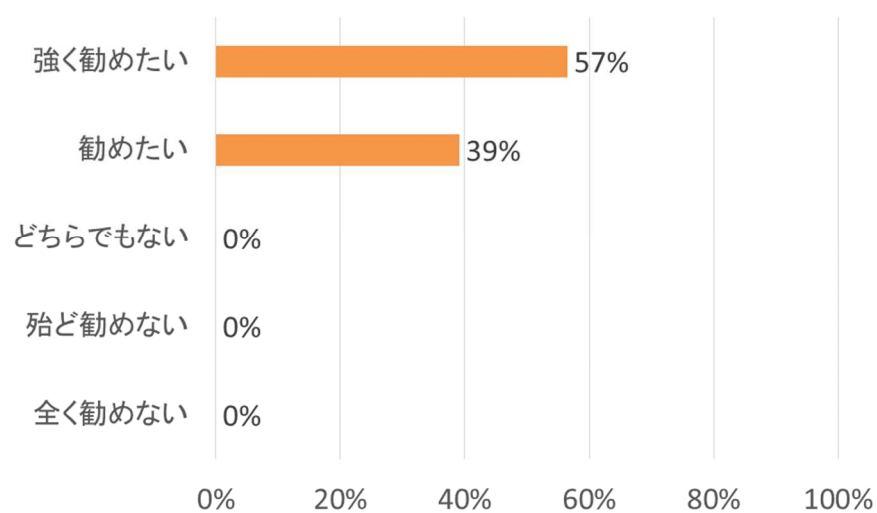
問13.

本セミナーの全体的な満足度を5段階で評価して下さい



問14.

本セミナーへの参加を他の人に勧めますか？



問15. 今回のワークショップについて、ご質問・ご感想などなどございましたらご自由にご記入ください。

(自由記載)

- ・ 人に見てもらおう為のポスター作りが判り易くて良かったです。
- ・ 自分は初期研修医ですが、今後ポスター発表、セッションの見学にあたり非常に役立つ内容でした。
- ・ 「英語でポスター発表したい」というフレーズを見て、やばい背伸びしすぎたと思ったのですが、ポスター経験0の自分にお作法が習えてよかったです。
- ・ もっと内容を深めたWSを受けてみたいです。自分がポスター発表するときの参考にしていきたいです。
- ・ 楽しく学べました。有難うございました。
- ・ 今回 ACP2014 に初めての症例発表をポスターで行ったのですが、自分のポスターで本当によかったのか自身が持てずに今回参加させていただきました。ポスター発表について学んだことはこれまでなかったので、非常に有益でした。また参加したいですし、知人にも勧めたいです。ありがとうございました。
- ・ SGD の特色であるせまくて親近感のあるセッションで、初学者の自分にも大変受けやすかったと思います。しかしながらグループ内でのディスカッションはさほどな無かったように思えます。
- ・ 実際にポスターを作るセッションがあってもよいと思いました。
- ・ ポスター発表も何回か数をこなして、みやすいポスターを作っていく必要があると思った。
- ・ 参加者からのポスターチェックをしてほしいです。
- ・ 今まで情けないポスターを作ってきてしまったなあと反省する今日この頃です。
- ・ Poster 発表したくなりました。

